



# コンフィギュレーションのインポート/エクスポート

- [コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて](#) (1 ページ)
- [FXOS コンフィギュレーション ファイルのエクスポート](#) (2 ページ)
- [自動設定エクスポートのスケジューリング](#) (3 ページ)
- [設定エクスポート リマインダの設定](#) (4 ページ)
- [コンフィギュレーション ファイルのインポート](#) (5 ページ)

## コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて

Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォームのコンフィギュレーション設定を含むXML ファイルをリモートサーバまたはローカルコンピュータにエクスポートするコンフィギュレーションのエクスポート機能を使用できます。そのコンフィギュレーションファイルを後でインポートしてFirepower 4100/9300 シャーシに迅速にコンフィギュレーション設定を適用し、よくわかっている構成に戻したり、システム障害から回復させたりすることができます。

### 注意事項および制約事項

- コンフィギュレーション ファイルの内容は、修正しないでください。コンフィギュレーション ファイルが変更されると、そのファイルを使用するコンフィギュレーション インポートが失敗する可能性があります。
- 用途別のコンフィギュレーション設定は、コンフィギュレーションファイルに含まれていません。用途別の設定やコンフィギュレーションを管理するには、アプリケーションが提供するコンフィギュレーションバックアップ ツールを使用する必要があります。
- Firepower 4100/9300 シャーシへのコンフィギュレーションのインポート時、Firepower 4100/9300 シャーシのすべての既存のコンフィギュレーション（論理デバイスを含む）は

削除され、インポートファイルに含まれるコンフィギュレーションに完全に置き換えられます。

- コンフィギュレーション ファイルのエクスポート元と同じ Firepower 4100/9300 シャーシだけにコンフィギュレーション ファイルをインポートすることをお勧めします。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシのプラットフォーム ソフトウェア バージョンは、エクスポートしたときと同じバージョンになるはずですが、異なる場合は、インポート操作の成功は保証されません。シスコは、Firepower 4100/9300 シャーシをアップグレードしたりダウングレードしたりするたびにバックアップ設定をエクスポートすることを推奨します。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシでは、エクスポートしたときと同じスロットに同じネットワーク モジュールがインストールされている必要があります。
- インポート先の Firepower 4100/9300 シャーシでは、インポートするエクスポート ファイルに定義されているすべての論理デバイスに、正しいソフトウェア アプリケーション イメージがインストールされている必要があります。
- インポートするコンフィギュレーションファイルに、そのアプリケーションにエンドユーザライセンス契約書 (EULA) がある論理デバイスが含まれていると、コンフィギュレーションをインポートする前に、そのアプリケーションの EULA が Firepower 4100/9300 シャーシで受け入れられている必要があります。受け入れられていない場合、操作は失敗します。
- 既存のバックアップ ファイルが上書きされるのを回避するには、バックアップ操作時にファイル名を変更するか、既存のファイルを別の場所にコピーしてください。

## FXOS コンフィギュレーション ファイルのエクスポート

エクスポート設定機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォーム構成設定を含む XML ファイルをリモート サーバまたはローカル コンピュータにエクスポートします。

エクスポート機能の使用に関する重要な情報については、「[コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて](#)」を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [System] > [Configuration] > [Export] の順に選択します。

**ステップ 2** コンフィギュレーション ファイルをローカル コンピュータにエクスポートするには、[Export Locally] をクリックします。

コンフィギュレーションファイルが作成され、ブラウザによって、ファイルがデフォルトのダウンロード場所に自動的にダウンロードされるか、またはファイルを保存するようプロンプトが表示されます。

- ステップ3** コンフィギュレーション ファイルを設定済みのリモート サーバにエクスポートするには、使用するリモート構成の [Export] をクリックします。  
コンフィギュレーション ファイルが作成され、指定の場所にエクスポートされます。
- ステップ4** コンフィギュレーション ファイルを新しいリモート サーバにエクスポートするには、次の操作を行います。
- a) [On-Demand Export] の下で、[Add On-Demand Configuration] をクリックします。
  - b) リモートサーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。
  - c) バックアップ ファイルを格納する場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージアレイ、ローカル ドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。  
IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。
  - d) デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。
  - e) リモート サーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
  - f) リモート サーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
  - g) [Location] フィールドに、ファイル名を含むコンフィギュレーション ファイルをエクスポートする場所のフルパスを入力します。ファイル名を省略すると、エクスポート手順によって、ファイルに名前が割り当てられます。
  - h) [OK] をクリックします。  
リモート構成はオンデマンドエクスポート テーブルに追加されます。
  - i) 使用するリモート構成の [Export] をクリックします。  
コンフィギュレーション ファイルが作成され、指定の場所にエクスポートされます。

## 自動設定エクスポートのスケジューリング

スケジューリングされたエクスポート機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシの論理デバイスとプラットフォーム構成設定を含む XML ファイルをリモート サーバまたはローカル コンピュータにエクスポートします。エクスポートは、毎日、毎週、または2週間ごとに実行されるようにスケジューリングできます。設定のエクスポートは、スケジューリングされたエクスポート機能がいつ有効になるかに基づき、スケジューリングに従って実行されます。そのため、たとえば週ごとのスケジューリングされたエクスポートが水曜日の午後 10 時に有効になる場合、システムは新しいエクスポートを水曜日の午後 10 時ごとに開始します。

エクスポート機能の使用に関する重要な情報については、「[コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて](#)」を参照してください。

手順

- 
- ステップ 1** [System] > [Configuration] > [Export] の順に選択します。
- ステップ 2** [Schedule Export] をクリックします。  
[Configure Scheduled Export] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** リモートサーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。
- ステップ 4** スケジュールされたエクスポートを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
- (注) このチェックボックスを使用して、スケジュールされたエクスポートを後から有効または無効にできます。ただし、スケジュールされたエクスポートを有効または無効にするには、もう一度パスワードを指定する必要があります。
- ステップ 5** バックアップ ファイルを格納する場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージアレイ、ローカルドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。  
IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。
- ステップ 6** デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。
- ステップ 7** リモートサーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
- ステップ 8** リモートサーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
- ステップ 9** [Location] フィールドに、ファイル名を含むコンフィギュレーション ファイルをエクスポートする場所のフルパスを入力します。ファイル名を省略すると、エクスポート手順によって、ファイルに名前が割り当てられます。
- ステップ 10** 設定を自動的にエクスポートするスケジュールを選択します。これは、[Daily]、[Weekly]、または [BiWeekly] のいずれかにできます。
- ステップ 11** [OK] をクリックします。  
スケジュールされたエクスポートが作成されます。スケジュールされたエクスポートを有効にすると、システムは、指定の場所に、選択したスケジュールに従ってコンフィギュレーション ファイルを自動的にエクスポートします。
- 

## 設定エクスポート リマインダの設定

設定エクスポートが特定の日数実行されていないときにシステムにエラーを生成させるには、エクスポート リマインダ機能を使用します。

## 手順

- 
- ステップ 1 [System] > [Configuration] > [Export] の順に選択します。
  - ステップ 2 設定エクスポートリマインダを有効にするには、[Reminder to trigger an export] の下のチェックボックスをオンにします。
  - ステップ 3 最後に設定エクスポートが実行されてからリマインダエラーを生成するまでシステムが待機する期間を、1 ~ 365 の範囲の日数で入力します。
  - ステップ 4 [Save Reminder] をクリックします。
- 

# コンフィギュレーション ファイルのインポート

設定のインポート機能を使用して、Firepower 4100/9300 シャーシからエクスポートした構成設定を適用できます。この機能を使用して、既知の良好な構成に戻したり、システム障害を解決したりできます。インポート機能の使用に関する重要な情報については、「[コンフィギュレーションのインポート/エクスポートについて](#)」を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ 1 [System] > [Configuration] > [Import] の順に選択します。
  - ステップ 2 ローカルのコンフィギュレーション ファイルからインポートする場合は、次の操作を行います。
    - a) [Choose File] をクリックし、インポートするコンフィギュレーション ファイルを選択します。
    - b) [Import] をクリックします。  
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。
    - c) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。  
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレイクアウトポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。
  - ステップ 3 設定済みのリモート サーバからコンフィギュレーション ファイルをインポートする場合は、次の操作を行います。
    - a) リモートインポートテーブルで、使用するリモート構成の [Import] をクリックします。  
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。
    - b) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。  
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレイクアウトポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。

**ステップ 4** 新しいリモート サーバからコンフィギュレーション ファイルをインポートする場合は、次の操作を行います。

- a) [Remote Import] の下にある [Add Remote Configuration] をクリックします。
- b) リモート サーバとの通信で使用するプロトコルを選択します。選択できるプロトコルは、FTP、TFTP、SCP、または SFTP のいずれかです。
- c) デフォルト以外のポートを使用する場合は、[Port] フィールドにポート番号を入力します。
- d) バックアップ ファイルが格納されている場所のホスト名または IP アドレスを入力します。サーバ、ストレージアレイ、ローカルドライブ、または Firepower 4100/9300 シャーシがネットワーク経由でアクセス可能な任意の読み取り/書き込みメディアなどを指定できます。

IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。

- e) リモート サーバにログインするためのユーザ名を入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
- f) リモート サーバのユーザ名のパスワードを入力します。プロトコルが TFTP の場合、このフィールドは適用されません。
- g) [File Path] フィールドに、コンフィギュレーション ファイルのフルパスをファイル名を含めて入力します。
- h) [Save] をクリックします。  
リモート構成がリモート インポート テーブルに追加されます。
- i) 使用するリモート構成の [Import] をクリックします。  
操作の続行を確認するダイアログボックスが開き、シャーシの再起動についての警告が表示されます。
- j) [Yes] をクリックして、指定したコンフィギュレーション ファイルをインポートします。  
既存の設定が削除され、インポートしたファイルの設定が Firepower 4100/9300 シャーシに適用されます。インポート中にブレイクアウト ポートの設定が変更された場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再起動が必要になります。